

鶯 溪

忍岡高等学校同窓会会報 令和7年5月30日(2025年)107号

発行/鶯溪会 〒103-0004 中央区東日本橋 2-16-10-504 電話・FAX 03-3851-9889

東京都立忍岡高等学校同窓会

鶯 溪 会

◆香り高い文化の創造◆



QRコードでホームページへアクセスできます

URL : <http://www.oukeikai.com>

e-mail : oukeikai@ybb.ne.jp



樹木の整理前の鬱蒼とした蓬萊園 (2017.11)



整備後、見通しが良くなった蓬萊園 (2019.3)

蓬萊池整備の 現状と今後の計画

造園や池の浄化、ポンプなどの知識のある方の協力お願いします

蓬萊園整備事業第一期は
池周辺の樹木の整理を実施

平成30年10月発行(第94号)「母校創立110周年記念蓬萊園整備事業」の記事にたくさんご賛同をいただきましたありがとうございます。

お陰様を持ちまして第一期の活動として、鬱蒼としていた池周辺の樹木の整理を行いました。2019年3月、公孫樹の近くでいつの間にか成長したネズモチの大木をはじめ、倒木の可能性のあったエノキ、クヌギ、ムクノキ等を専門業者により伐採しました。

整備後の蓬萊園はすっかり見通しが良くなり大公孫樹の雄姿が際立つようになり、周囲に雑然と生えていた葉蘭も刈り取られ池の形がきれいに見渡せるようになりました。

蓬萊園整備事業第二期は
池の清掃と恒例行事としての
草刈りイベント

その後も同窓生の蓬萊園に対する熱い思いは尽きることなく引き続き寄付をお寄せいただきました。理事の間でもさらなる整備計画が持ち上がりこの蓬萊園をさらに魅力のあるものに

し、生徒の憩いの場としてつ忍岡高校の特色の一つにできないかと考え、まず池の清掃を計画しました。
現状、池水循環用に配置

した動かなくなったポンプや電源設備の復旧などから始め、池の水を抜いて泥やゴミを取り除く掻い掘りを実施し、できれば環境整備として年に一度くらい在校生と卒業生が共同で池の周辺の下草刈りと清掃などを恒例行事として実施していきたいと考えています。



水の浄化を急ぎ、蓬萊園を早く憩いの場所にしたい

現在、池の清掃専門業者に見積を依頼しており、この内容を見て、学校や都と打ち合わせをして進めて行く予定です。

思い出深い庭園をなんとか
魅力のある庭園に

卒業生にとっては思い出深い庭園ですが、実は残念ながら地元の方でも案外知らない方もいたりするようです。地元の方々・同窓生・学校・行政などにも働きかけながら一つ一つ調査・検討し少しでも魅力のある庭園にしたいと考えています。

また、造園や池の専門家・ポンプなどの知識のある方の協力をお願い致します。

定期総会のご案内

令和6年度「107回定期総会」を左記の通り開催いたします。
会員のみなさま、運営委員(評議員)のみなさまのご参加をお願い申し上げます。

日時 令和7年6月22日(日)

午後1時30分より

会場 中央区立産業会館

4階第1集会室

議題

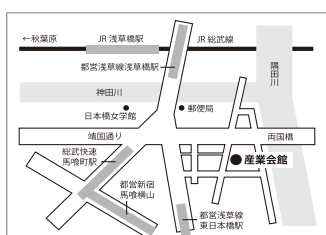
一、令和6年度事業報告

及び決算報告

一、令和7年度事業計画

及び予算案

★入場数に制限があります。
参加ご希望の方はメールにてお申し込みください。



■交通機関/
都営浅草線東日本橋駅・都営新宿線馬喰横山
JR総武快速線馬喰町駅・JR総武線浅草橋駅



www.oukeikai.com
ホームページ



oukeikai@ybb.ne.jp
メールアドレス

忍岡の春



ご卒業、そしてご入学おめでとうございます。春の忍岡は華やかにスタートしました。式典には鶯溪会からは佐々木会長が来賓として参列しました。

卒業式 3月8日

この日巣立つ192名。家族、教師、先輩方への感謝を忘れずに。今後の活躍を祈ります。

〈令和6年度卒業証書授与式〉

今年の春は天候が安定しない日が続き、3月とはいえ極寒の3月8日(土)に母校の卒業式が行われました。

拍手に迎えられ192名の卒業生が入場、国歌斉唱、卒業証書授与、学校長の式辞などに続き、少し緊張した顔つきでしたが、体育館いっぱい響き渡る校歌斉唱の後、約一時間の卒業証書授与式が過ぎていきました。

卒業生達は、希望に満ちた無限の可能性のある未来に向かって元気に巣立っていきました。

入学式 4月8日

新入学生徒220名。大きな希望を胸に、大切な年代を忍岡で充実した高校生活を送ってほしい。

〈令和7年度入学式〉

卒業式とは打って変わって暖かい春の陽気、満開の桜の中、4月8日の入学式。

慣れない少し大きめの制服を着て、緊張した面持ちの220名(普通科155名、生活学科65名)の新入生達が入場、国歌斉唱の後、学校長より忍岡高校への入学が許可され、鶯溪会が作成した校歌CDでの校歌紹介と、滞りなく挙行されました。

入学式の後、満開の桜の蓬莱園をバックに入学記念写真の撮影をしていました。



希望に満ちた新入生の皆さん、先生方の指導の元で充実した高校生活を送ってください。

薬学部進学の内田直哉さんに 鶯溪会より奨学金贈呈



〈薬学部奨学金基金より〉

令和7年4月23日、母校校長室にて今春帝京平成大学薬学部薬学科へ進学した内田直哉さんに奨学金10万円を贈呈した。

この日、大学の授業を受けてから駆けつけた内田さんに紺野校長並びに大串副校長立ち会いのもと鶯溪会会長佐々木弘より鶯溪会奨学金が手渡された。

「漫然と進学するのではなく、なにか具体的な方向を決めたかった。家族の影響で薬学部を選びました」と内田さん。3年間の努力が実り志望大学へ進学した今後の活躍を祈りたい。



同窓の先輩からの奨学金、今後の活躍の糧として役立ててほしい。頑張ってください。

薬学部奨学金 基金とは

昭和63年5月、4期生の笠倉志げ様より母校の学生対象に200万円の奨学金の寄付をいただき、それを基金として大学の薬学部に進学した生徒に一人10万円を奨学する制度です。その後、平成29年に48期生の白石美智子様より「学校薬剤師として40年努めたことにより叙勲されたことへの感謝の気持ちとして鶯溪会に100万円を寄付し、笹倉先輩に習い薬学部進学者に奨学してほしい」との申し出を受け、合わせて「薬学部奨学金基金」としている。

忍岡高校の年間予定

- 4月 始業式、入学式、部活動紹介、生徒総会
- 5月 校外学習、1学期中間考査、体育祭
- 6月 家庭科技術検定(生活科学科)、面談週間、授業公開1学期期末考査、セーフティ教室、終業式、夏季講習、学校見学会、部活動合宿
- 8月 学校見学会、体験授業(生活科学科)
- 9月 始業式、文化祭、生徒会選挙
- 10月 模擬面接指導週間(3年)、防災訓練(1年、2学期中間考査、学校説明会、体験授業(生活科学科)、修学旅行(2年)
- 11月 ボランティアの日、授業公開、学校説明会、体験授業(生活科学科)
- 12月 2学期期末考査、教育講話、終業式、冬季講習、個別相談会
- 1月 始業式
- 2月 学習成果発表会(生活科学科)
- 3月 学年末考査、卒業式、芸術鑑賞教室、テンプルマナー(生活科学科)、球技大会



会場の半分ほどのスペースに生徒が制作した作品が多数展示されている



壇上でプロジェクターを使って課題研究の発表をする、優秀として選抜された3年たち



被服を学んだ生徒たちの展示コーナー



家庭科技術検定一級取得の生徒たちは校長より表彰はされた



食物関係はの実物の展示が難しいので写真を使ったのパネル展示



食物の授業では、決められた時間内に5品目を作る課題も



生活科学科 学習成果発表

令和7年2月8日 13時～

忍岡高校体育館にて

生活科学科の保護者が見守る中、今まで培った学習内容を発表

毎年2月に生活科学科の生徒が今までに培った学習の内容を発表するのがこの学習成果発表会。今年は令和7年2月8日(土)午後1時より忍岡高校体育館で開催された。会場の体育館の後方には課題の作品が展示され、生活科学科の全員と保護者が見守る中で選抜された生徒が壇上で発表する。発表の後に家庭科技術検定1級を取得した食物系、保育系、被服系の生徒たちへ表彰があり、最後に校長先生による講評があった。

被服系の生徒によるファッションショーで盛り上がる

発表は3年生の保育選択生徒による「ハンドベルと歌」から始まり、家庭の衣類のムダを無くしファッションの楽しさを発表した1年生。2年生による高級レストラン、革製品やアクセサリー販売、保育園でのインターシップ体験、そして3年生の課題研究優秀者による発表と続く。優秀者によるプロジェクトによる発表が終わると被服系選択の生徒によるファッションショーが行われ盛り上がりを見せたところで発表は終了した。



最後のファッションショーでは被服系の課題で発表された作品が紹介された

各テーマに基づき資料作りから発表まで力作ぞろい

3年生の課題研究優秀者のテーマを紹介しよう。

〈住居からは〉
・ 効率の良い間取りを立体模型で表現した「自分時間を大切にする家づくり」

〈被服からは〉
・ ファッションショーでも盛り上がった「ペーパードレス」紙で表現するウェディング」
・ モデルに実際に着てもらいその便利さを訴えた「脱ぎ着しなくても温度調節しやすい服」

〈保育からは〉
・ 医師であり教育者であったモンテッソーリ教育を元にした「幼児向け手作りおもちゃの開発」が発表された。

〈食物は〉
・ 日常に少しの栄養をプラスということで「体の不調を食事から改善」

・ 糖尿病リスクへの警鐘訴えた「血糖値の改善」
・ スポーツ選手の栄養を調べた「バトンフラワーのための栄養学」
が発表された。
研究者はみんなわかりやすく資料を作り、プロジェクターを使い丁寧に説明していた。

将来はスペシャリストとして活躍が期待される

ここで生活科学科について少し紹介する。生活科学科では普通科目の他に家庭科の専門科目が用意され、卒業までに25単位以上の専門科目を取得できるようにカリキュラムが組まれている。専門科目には調理、被服、保育、介護関連など様々な分野の選択科目があるが、同一分野内に絞って選択する事も、違う分野の科目を組み合わせて選択する事も可能で単位制の特徴を生かした自由な選択と学習が可能になっている。

将来スペシャリストとして世界で活躍できるように、「生活科学系(栄養・調理・食品衛生など)」「服飾・デザイン系(ファッションデザイン・服飾手芸など)」「総合系(住居生活・デザイン・保育など)」で知識や技術を学び、資格取得やコンクールにチャレンジしている。

会員だより

2025年3月31日
まで掲載しました



oukeikai@ybb.ne.jp
鶯溪会メールアドレス

お便りありがとうございます。当コーナーを同期の仲間への呼びかけや、近況報告などに使ってください。広告枠もありますのでご利用ください。お便りはメールでも受付けています。(※カッコ内は旧姓)

24期 久保田(宮嶋)睦子

二男(久保田明)

百五歳になりました。ほとんど眠って過ごしておりますが、週に一日程度は、はつきり目覚めてさまざまな話をします。皆様もお元気で過ごしてください。

29期 梅田(武)須美江

鶯溪 No. 107

無事に百寿を迎えました。今は穏やかに暮らしております。

30期 関根(中台)美智子

お陰様で無事に100歳のお誕生日を迎えることが出来ました。今が一番幸せ！と感謝の気持ちで過ごしております。

35期 国枝(前田)安江

ご家族

昨年12月に誕生日を迎えました。自宅で転び、入院を経て座間市内の施設で元気にしております。眼は悪く不便ですが、まだまだ私など注意されたりします。歌を歌うと暗誦で歌います。

38期 岩丸(津川)栄

何時も会報ありがとうございます。蓬萊園の整備はご苦労様です。よろしく願っています。

42期 堀部(石黒)孝子

紅葉が一段と進んで美しい季節を楽しんでおります。

42期 斉藤(大塚)廣子

地元の老人クラブの行事・催物等に参加して、独り暮らしを楽しんでいます。ちなみにグラントゴルフ・輪投げ・吹矢・ダーツ・カラオケ…

44期 安藤(田中)享子

いつもお世話さまです。「会報」楽しみに読ませて頂いています。ありがとうございます。

45期 新井文夫

朝日川柳掲載76句、齢85歳(2024/11/22現在)「百までを指折り数え活を入れ」ガンバッテ タノシンデ イマス!!

46期 南畝清志

忍祭に関するインタビューの記事を楽しく拝見しました。

47期 一瀬(小川)志磨子

会報いつも楽しく読んでおります。訃報には心を痛くします。

48期 中村(坂本)繁子

もうすぐ83歳になります。年には勝てません。ぼけが始まっています。正気が残っているうちに同期会企画してくれないかな。

48期 白石(桃木)美智子

元旦生まれで、82歳も残り数十日になりました。今年は89歳の夫と2人プライベートの旅行でオーストラリアに20日間滞在。元気に過ごしました。

54期 渡辺(宮寺)美代子

いつも忍の会報をありがとうございます。特に同期の上原様には感謝、感謝です。

54期 等々力(細田)美津子

お世話になります。皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

55期 串崎(寺本)千枝子

大変お世話さまになります。どうぞよろしく願っています。

55期 松岡(山口)久美子

いつも会報をありがとうございます。毎回楽しみにしております。

56期 鈴木康子

コロナ禍で、長く同期会を開いておりません。そろそろ集まりたいですね。

57期 吉野(太田)泰子

理事会の皆様、運営委員の皆様、ご苦労さまです。

58期 横山(鳥海)葉子

会報ありがとうございます。元気にしております。

58期 小林早苗

私たち58期生の時代には、様々な進路行事や進路活動などに備えてゆく準備はほとんどなかったように思います。今の生徒は大変なぶん幸せですね。

59期 岩橋(吉岡)利枝

いつもありがとうございます。

59期 小林辰也

会報のご送付有難うございます。並ぶ訃報に心を痛め落胆したり、会費や協力金の送金リストに旧友の名を見出して皆さんの健在ぶりに勇気づけられたりと会報は毎回、悲喜こもごもです。

61期 金田歳弘

蓬萊園 見学できますか？

61期 上原富士子

歳を重ねてさらに進化・発展する「異常な61期」と呼ばれています。(運営委員)

62期 高橋清彦

元気にやっております。いつもありがとうございます。

64期 徳田(松田)ちよ子

8月に転居しました。同じ市内の転居ですが、環境が変わり、新しい生活を楽しんでいます。

70期 高瀬雄二

第70回卒、60歳 退職してこの4月より東京成徳大学子ども学部子ども学科に勤務しています。

71期 金澤見映
毎号楽しみに読んでいます。2025年こそ、母校を訪ねたいと思っています。還暦のお礼に。

72期 大塚昭宏

先日久しぶりに実家に帰った際、鶯溪が届いておりました。読むたびにいつも懐かしさでいっぱいになります。ありがとうございます。

訃報のご連絡にあたり
メッセージをいただきました

28期 和田由利子

ご家族

母の人生で一番キラキラと輝いていた時間のようでした。よく女学校の話をしてくれました。大変な時代ではありましたが、母の話を聞いていると楽しそうだな、うらやましいなと思いました。尊い時間でした。

33期 宮川(白井)松子

長女(宮川美波)

亡くなりましたので、ご連絡をいたします。素敵な同級生、上級生また先生方とともに過ごした忍岡での女学校時代はじめ。そして戦争により英語の授業がまずなくなり、日立の工場に動員になり、人間魚雷の給油ポンプの作業をしていたと。東京大空襲、お友達

スマホの音楽♪



ここに掲載する4コマ漫画は漫画研究部 佐藤ひよりさんにお願ひしました。次回も漫画研究部にお願ひする予定です。

席が空席になる。校庭で聞いた玉音放送。その光景を朝日新聞が取材に来ていて掲載されたと話していました。昭和3年生まれ。人生の華の時代であり、昭和の闇の時代でもあったと思われます。そんな忍岡のことを心の宝として生きてきたのではないかと、娘の目からは思えます。故郷の伊豆大島に戻ってから連絡をとり続けたお友達も、一人またひとりと旅立ち、母も穏やかにほほえみをうつすら浮かべて旅立ちました。今までありがとうございました。貴会の益々のご発展をお祈りいたします

35期 根橋(長峰) 勝代

ご家族

2024年10月27日95歳の天寿を全うし、安祥と旅立ちました。生涯「忍岡高校」の卒業生としての誇りを持っておりました。「鶯溪」の末永いご発展を、ご祈念いたします。ご報告とさせていただきます。

40期 益田(稲垣) 米子

長男(益田栄一)

母、益田米子が2022年12月19日89歳にてなくなりました。今まで会報をお送り下さり有難うございました。また、伯母、佐藤(稲垣)二子も2023年8月24日

36期 島崎(大石) 富久子

長男妻(島崎奈穂子)

お世話になっております。先日は同窓会会報をお送りいただき、ありがとうございます。今年2024年5月に島崎富久子が亡くなりましたので、ご連絡いたしました。

38期 萩原(清水) 美代子

長男(萩原淳一郎)

同窓会会報をご送付頂いてます。萩原美代子につきまして、令和6年9月4日に93歳にて逝去しましたので、会報送付の停止をお願いいたします。故人が大変長らくお世話になりました。ありがとうございます。

94歳にて亡くなりました。二人とも都立忍岡高校に誇りを抱いていました。皆様の益々のご繁栄を陰ながら祈りいたします。

40期 成瀬(小張) 多美子

長女(中島真美)

2024年6月20日、90才で逝去しました。毎年、母が会報を見て、同級生がどんどん居なくなってしまうと悲しんでいたことを思い出します。向こうで友人達と楽しく過ごしていると思います。長年にわたりお世話になりました。

41期 中村清

息女(門長記子)

いつも会報を送っていたいただき、ありがとうございます。今年2024年2月9日に父が亡くなりましたので、ご連絡させていた

41期 打矢(浦野) 智枝子

ご家族

自分の青春時代と重ね合わせ、楽しみに機関誌を拝読しております

したが、昨年末89歳で亡くなりました。有難うございました。

54期 加藤(篠田) 美代子

息女(加藤寿和子)

母、加藤美代子が令和6年10月14日、77歳にて永眠いたしました。ここに生前のご厚誼を深謝し謹んで通知申し上げます。

同期会開催のご案内

第66期同期会のお知らせ

(昭和50年入学・同53年3月卒業)

日時: 2025年11月2日(日)

午後2時から

場所: 台東区内(上野駅近く)のレンタル会場

詳細は、9月頃にご案内します。それまで皆様で連絡を取り合い、開催予定を広めてください。

※66期生は、昭和34年4月〜35年3月生まれで66歳になります。記念の会として、有志が準備をしています。

「同期会」開催の案内に当コーナーをご利用ください。同期会促進のため無料で開放します。10行くらいでまとめてください。(今回13行は特別)



鶯溪会メールアドレス
oukeikai@ybb.ne.jp

※会室には常駐していないので電話を受けることができません。ご了承くださいます。

母校への思いをお寄せください

100年を超えて活動する鶯溪会は、その会員年齢の幅は広く最大で80年にもなります。女学校の忍岡を卒業した人、都立の普通科を卒業した人、単位制の高校としてもすでに19年を超えています。

その幅広い年代のみなさんが、どんな思いで母校を見ているのか。今、母校に思うことなどをお寄せください。現役生へのエールとなれば嬉しく思います。また、活動の参考にさせていただきますので会への要望などもお願いします。

ハガキ、お手紙、ファクス、メール、なんでも構いません。宛先は、本会報の題字下に記載しますのでよろしくお願ひします。

同窓の人々

昨年の鶯溪会の総会にも出席いただいた
40期山口千代さん

山口さんは一九三三（昭和八）年のお生まれ。八月には九二歳になられる。四〇期の運営委員であり、最年長である。去年の総会・運営委員会後の懇親会にも最後までご参加いただき、その健啖家ぶりとエネルギーなお姿に理事一同が驚いた。四月の初頭、埼玉県八潮市のご自宅で庭の桜の木、ツツジ、赤や白の椿の花を眺めながらお話を伺った。

女学校から改編され、男女共学・

5日制になった年に忍に入學

山口さんは五人兄妹の次女。実家は南千住でトラック一〇台を持つ運送業で、若い衆が三〇人近く住み込んでいたという。

戦争末期には千葉県の八日市場町、今の匝瑳市（そうさし）に疎開していた。終戦となり三ノ輪にある荒川区立第一中学校に編入。

忍に入學したのは昭和二五年。忍を選んだ理由は兄嫁が通っていたからだった。

この年は、忍にとってエポックメイキングの年であった。新学期から五日制・男女共学となったからだ。全生徒数三八〇名、そのうち男子は一八名だった。女子も大多数の女学校からの進級組に山口さんのような高校受験組が混じっ

ていた。

女学校という秘密の花園に侵入してきた男子を女子たちはどう迎えたのだろうか。イケメンがいたらしい。上級生が教室をのぞきに來たりして大騒ぎだったという。その男子はとうとう転校してしまった。同級生には女優、加賀まりこのお兄さんがいた。山口さんは男子はまったく気にならなかったそうだ。

あの頃は仲良しと連れ立ってよく遊びに行った

授業はホームルーム以外、クラスの違いがなく、科目ごとにカバンを持って教室を移動した。今でも教室を間違える夢をよく見るという。授業では榊原政常先生の国語が印象に残っている。歌舞伎の

話が面白かった。

楽しかったのは銀座で遊ぶことだった。銀座に行くときは学校の制服。制服以外の普段着はフラ物資としてもらった衣類を仕立て直して着た。フラ物資とはアメリカの民間団体が日本に送った食料や衣類などの救援物資である。銀座の街を歩くときよく声をかけられた。

仲良しには誰もが振り向くような美少女もいた。米兵のジープに乗り、飲んだことのない飲み物をもらったこともあった。コカ・コーラだった。若い社長さんたちに中華料理をご馳走になったことも。ビールも少し飲んだ。今なら不良少女と呼ばれかねないが、開放的な気分が時代をおおっていた。当時流行った「銀座カンカン娘」のメロディーが聞こえてくるようではないか。山口さんたちも怖いもの知らずだった。

卒業後、次々とつらい出来事が続くが、そんな中で夫となる人と出会う

昭和二七年三月三十一日の卒業式は大雪だった。「禍福はあざなえる縄の如し」ということわざがあるが、忍を卒業してからの数年、山口さんの身には人生を揺るがすような出来事が次々と起こる。山口さんは神田にあった任天堂東京支店に就職した。当時の任天堂は

花札の製造・販売業。お客はヤクザのような人達が多く、からかわれるのは日常茶飯事だった。これにはさすがの山口さんも嫌気がさし退職。夏には可愛がってくれた父が亡くなった。そのあと肺結核に罹患し今の埼玉医科大学病院に六ヶ月間入院。

災厄が続く中、毎週シュークリームを買って見舞いに来てくれる男性がいた。後の旦那さんである。友達の家へすぐ近くに住んでいる人だった。

夫の会社の経営を山口さんが実質的に担うことに

山口さんの旦那さんはガス魚焼き器を開発し特許をとった。敷地内には二階建ての工場が残っている。経営は順調だったがすべて山口さん任せだったという。自身は趣味に没頭していた。花や動物を愛する人だった。

往時は万年青（おも）と）やサボテンに凝り、各地の地鶏、孔雀やクマまで飼っていたそうだ。その旦那さんも昭和の終わりとともに亡くなった。山口さんは魚焼き器の技術を



ガス魚焼き器で特許取得

生かし、植物栽培の鉢の掛け棒づくりを続けてきた。今でも会社の代表取締役である。

元気の秘訣は、旦那さんが亡くなって三十年間、ジム通いを続けてきたこと。股関節の手術を三回。人工関節だが、プールでの水中ウォーキングの成果で歩く姿は颯爽としている。

忍岡高校との仲間が財産、卒業後も親交を温めてきました



40期の同期会では日本の各地を旅行しました（右から2番めが山口さん）

山口さんたち四〇期の同期会は卒業の三年後から一〇年前まで続いていた。山口さんは旦那さんが亡くなってから誘われて参加した。北海道や佐渡、九州への旅行。高齢になつてからのホテルでのカラオケ大会。忍に入つてよかったことは親友を持てたこと。その絆の強さ。「忍のお陰で楽しい人生を送れました」と最後に語ってくれた。

（取材・文 55期 要 幸男）

同期会報告

61期同期会報告

2024年6月1日

東上野オーラム総合宴会会場

61期 六本木 健

古稀の同窓会を開催

向暑の候、6月1日の晴れた土曜日に第61期生同窓会を東上野のオーラム総合宴会場に於きまして開催いたしました。会場は59期生吉田一正さんのご紹介によるものです。先輩、ありがとうございます。

当日は恩師の小林公生先生のご臨席を賜りました。私たちより67年長の先生は近年病を得られましたが、快癒されて駆けつけていただきました。お姿はお若く、私共を勇気づけていただきました。小林先生は現在、精神力ウンセラを都内の公立校でなさっております。

参加者は遠くはNYから初参加の女子もおられ、古稀の記念というところであって、恩師の先生との

再会を楽しみにされていた方々、初参加6名を含む75名の参加を得ました。



75名の参加で盛り上がり3年後の再開を期して全員で記念撮影。

会は毎度の集合写真を撮影し、余興の古稀記念ジャンケン大会を楽しみ、この度も懐かしい思い出話でとても盛り上がり、あつという間に中締めとなり、次回は3年後（令和9年）の開催を約してお開きとなりました。

末尾になりましたが、今回も開催にあたりまして細部にわたり惜しみなく協力してくださいました幹事会の皆様、紙面を借りまして御礼申し上げます。

同期会の皆様、次回3年後の再会を楽しみにご健勝にお過ごしください。それでは、恙無く。（つづがなく）

62期同期会報告

2024年10月26日

トラットリアクレアッタ

62期 高橋 正

「今日までそして明日から」 「また逢う日まで」

2024年10月26日、62期同期会が丸の内ガーデンタワー1Fの「トラットリア クレアッタ」にて開催されました。前回の同期会は2019年に銀座で行われ、その後、2020年からのコロナ禍により、開催が見合わせられていました。5年ぶりの開催となりました。今回、総勢63名の参加者と2名の先生（小林先生、市川先生）を迎え、合計65名が集まり、参加者同士の絆を深める貴重な時間となりました。

「私は今日まで生きてきました・・・」から始まる「今日までそして明日から（吉田拓郎）」がヒットした1971年に忍岡高校に入学し、ふと気づくと、卒業してから50年が経ちました。同期会の会場に足を踏み入れると、まず感じたのは「懐かしさ」と「安心感」でした。時折、顔を見合わせては「外見は少し変わったけれど、あの頃と変わらないね」と笑い合う

姿が印象的でした。年齢を重ね、人生経験を積んでも、同窓会の場ではまるで高校生の頃に戻ったかのような感覚に包まれていました。記憶の中の若かりし自分と、今の自分がひとつに重なり合う瞬間、それこそが、同期会をこれほどまでに楽しいものに行っているのだと思いました。「タイムマシンにおねがい（サディスティック・ミカ・バンド）」（ヒットしたのは、我々62期が忍岡高校を卒業した1974年）は必要ないと思える瞬間でした。



小林先生と市川先生を迎え総勢65名が一体となり不思議なつながりを感じた62期の同期会、次回も楽しみに。

歳月を経ても、共通の思い出を持つ仲間同士の再会は、時間を越えた不思議なつながりを感じました。歳月が経つことで、お互いの

理解も深まり、感謝の気持ちがさらに大きくなっているようでした。そうした思いが、同期会の中に温かな空気を作り出していました。ケーキカットやワインのテイastingなど、司会進行も工夫されていました（司会進行の小林孝也君、ありがとうございます）。

同期会に集まった仲間たちとの再会は、まさに「今日まで」を大切に作る瞬間です。懐かしい思い出話に花を咲かせ、共に過ごした時間を振り返りながらも、同時に「明日から」の時間をどう過ごしていくかを語り合うことです。自分にとって大切なものを見つけ、それを大切にしていけることが、これから先の人生を充実させる鍵となると思っています。

私たち62期同期会は単なる懐かしい再会だけの場ではなく、それぞれの人生をより豊かにするために力を与えてくれる場であると思っています。同期会幹事の皆様、ありがとうございます。次回の同期会も、多くの仲間と共に、前向きなエネルギーを分かち合いながら迎えることができることを楽しみにしつつ、「また逢う日まで（尾崎紀世彦）」（この曲も忍岡高校に入学した1971年にヒットした曲）、素晴らしい一日が幕を閉じました。

63期同期会報告

2024年11月16日

浅草橋ベルモントホテル

63期 金子正直

コロナにより延期
そして4年後に開催

2020年の秋に予定されていた同期会がコロナにより延期、4年待つて2024年11月16日(土)に総勢55名が集まり浅草橋のベルモントホテルにて午後2時から行われた。

会場はホテルの二階に設けられ、受付開始の午後1時30分前後から順次懐かしい顔がエレベーターの扉から現れる。受付を終える参加者には自らネームカードに記名してもらい、首に下げ会場入りしてもらう。入場すると壁際に巡らされた椅子に銘々座り、また親しい人同士立ったまま集まり、間もなくあちこちで互いを懐かしむ声が聞こえ賑やかになる。定刻の2時にはほぼ全員が集まり会が始まった。あいにく先生方にはこの年月ゆえの移動制約によりご列席は叶わなかった。会は進行役の大塚泰江(旧姓佐久間)による開会宣言と共に実行委員代表佐々木弘による挨拶と開催趣旨や

それまでの経緯の説明から始まった。(敬称省く、以下同)

代表挨拶のすぐあとに全員でステージの前に並び記念撮影を行った。宴席が始まって打ち解けてからは集合が難しくなるとの判断からである。記念撮影のあと筆者の先導により乾杯が行われ、そのまま歓談に入った。



乾杯前の記念撮影なので若干の緊張感を持って集合。その後はすぐに打ち解けてアットホームな雰囲気に。

開会後の歓談の様子は、会場の広さと参加人数が程よかったためか適度な親密さに包まれ、皆しばらくぶりであったにも関わらず、すぐに at home な雰囲気が生まれ、在学当時は顔を知るくらいで遠かった面々ともあちらこちらで親しく交歓する様子が見られた。遠くはハワイから来てくれた参加者もあり、また同期で夫妻となった人たちも複数組参加していた。

時代らしく「LINE」を交換し合う姿

や、次々と新たな懇談グループが組み直されて写真を撮り合うなど予定の二時間があつという間に近づいて行く。途中に忍岡高校同窓会、鶯溪会会長の佐々木弘による鶯溪会の現状説明と協力の呼びかけなどの案内を挟んで、最後にはCDの伴奏に合わせ全員で校歌を歌い本会は閉会した。

この後二次会に移行して、午後4時半から同じく浅草橋の大樹という居酒屋を会場に、約40人が再集合して交歓を続けた。

なお、2012年から有志により組成された本実行体の活動は、これを含め全3回の同期会を行い、所定の目的が達成されたと判断して今回を区切りとする。またいつの日か同期の誰彼により発案推進され、機運が満ちた時に、校歌の通り忍岡高校の名のもとに笑顔で挙(こぞ)らんことを期す。

71期同期会報告

2025年2月8日

銀座の「BONE ROAD」

71期 小幡英司

10年ぶりの同窓会

「私たち還暦を迎えました!」

2025年2月8日の土曜日、約10年ぶりに71期の同窓会を、銀座の「BONE ROAD」で開催しました。このお店は同期の一人が月に1回DJをやっているお店です。(なので、いろいろ融通が利きました)ダイニングバーで、私たちが高校生だった頃の音楽を聴きながら始まりました。参加者は43人でした。

最初に鶯溪会の佐々木会長から挨拶、鶯溪会の説明、参加者募集があり、会費の補助もありました。会うのは卒業以来の人もいて、同級生同士で結婚した人もいてびっくりしました。その後、卒業アルバムの写真プロジェクトに出して、42年前の自分たちを見て大笑いし、クラスごとに全員が近況を報告しました。

3時間の会も終わり、そのまま場所を変えずに二次会へ!ここからカラオケ大会になり、唄うは聖子ちゃんにアン・ルイス、俊ちゃん、ジュリーと昭和の歌で大盛り上がり! たまにしか会わない人、とても久しぶりな人、もいますが、さすが3年を一緒に過ごした仲間!すぐに打ち解けてとても楽しい会になりました。そしてみんな元気で若い!!

次回の約束(スパンを短く3、5年後?)をして約5時間超の会も終わりました。参加した皆さん

ありがとうございました。来られなかった方々、次回は必ず会いましょう!



会場はダイニングバー、昔の音楽を聴きながら盛りあがった71期

67期同期会報告

2025年4月5日

第一ホテル両国

67期 水落(米山)英里子

十代の笑顔と共に両国に集う
元気な65歳!!

67期が還暦を迎える年に、繊維メーカーに勤めるG組金子氏のご協力の元、赤いポロシャツ100枚をご用意し、開催に向け準備を進めておりました。しかしまさかのコ

コロナ禍で延期。5年の歳月を経て、12年ぶりとなる同期会を4月5日(土)『第一ホテル両国』にて、やつと開催する事ができました。

しかしA組大野さんと二人で進める準備は困難を極め、往復葉書の予想を遥かに下回る返信率に戸惑いながらも、少しでも多くの旧友との再会を果たしたい一心で、ライン等のツールを駆使し誘い続けた結果、前回より減りはしたものの60人程の参加者を集う事ができました。

会場には、テーブル毎に卒業アルバムのコピーを置き、その若かりし頃の写真は笑いを誘い、出席者のみならず、全ての旧友と時を同じく過ごした思い出の中にタイムスリップする感覚は、表現し難い若返りの瞬間でした。

会の中盤ではくじ引きにより選ばれた有志の方々に登壇していただき、注目の集まる中の個性溢れる近況報告も、昔を懐かしむには充分過ぎるものでした。

スカイツリーを眺める25階から4階へと会場を移動するも、殆どの方が2次会に参加。着席式となり、いつしかお酒の量も増え歌いだす友も。そして宴会は最高潮に。あつと言う間の5時間の宴は、お菓子メーカーに勤務するG組堀江氏の計らいによる『さくらミルフィュー』の手土産にて終了。後

日「参加できて本当によかったです。」など多数のメールを頂戴し、貴重な時間を共有できた事に感謝。

残念ながら介護、闘病中との日常を抱える方も多くみられ、現実の厳しさも垣間見えたが、そんな皆様にも元氣をお届けできました。そして定年を迎えセカンドステージに向けた活力に繋がる事を願います。皆様本当に有難うございました。

尚、赤いポロシャツはG組鞠山氏率いる少年野球チーム等に寄付させていただきました。



「還暦の年に集まろう！」がコロナ禍で延び12年ぶりに開催された同期会。卒業アルバムの写真に大笑い、一瞬で思い出の中に。

鶯溪会が「初めて の同期会」開催を お手伝いします

鶯溪会では、初めて同期会を開催するときのお手伝いをいたします。告知のための最新の名簿を提供します。(個人情報保護のためデータ提供には厳正な規約があるので運営委員を通してください)宛名シールが必要な場合は実費でシール作成を承ります。実行委員は多いほど運営が楽にできるのでたくさんの方で始めてください。

初回の場合、参加人数の読みができないので会場設定が難しいところですが、大体60名から100名が収容できる会場がよく使われています。会費は通信費込みで8,000円から10,000円が多いようです。



oukeikai@ybb.ne.jp
メールアドレス

文化祭に行こう！ 〈忍祭 2025〉

令和7年9月7日(日) 一般公開

9:00~15:00 (受付終了 14:00)

★ご来場の際は、鶯溪会のブースにお立ち寄りください。冷たいお茶を用意しております。

昨年は、一般公開の1日だけ保護者や卒業生、地元の方たちも含めたたくさんの人が来場され、その数約2100人にのぼった。昨年の企画一覧を見ると、定番の焼きそば、アイスの販売の他にコスプレ喫茶もあつて高校の文化祭感満載

提供している。展示は5メートルもある忍岡高校110年の歴史を綴った年表、平戸藩松浦家の上屋敷であった蓬萊園跡地に移転した忍岡高女にまつわる話と、松浦家の歴史をパネル掲示した。



展示室の様子。蓬萊園と平戸藩松浦家の関係、忍岡高校の歴史などパネルで展示しアピールしました。

昭和の時代に生徒会で作成した生徒会誌「梅の香り」をほぼ全号展示した。また各年代の卒業アルバムを何冊か展示したが意外と手に取りページをめくる人が多かった。

ご来場の際はぜひ鶯溪会のブースに足を運んでください。



鶯溪会も毎回ブースを開設して卒業生の憩いの場を

会費・協力金をご送金いただいた会員氏名

たくさんの皆さまのお心に
感謝申し上げます。

(2024.8.1 ~ 2025.3.31) ※2025.4.1 以降の納付については次回掲載 ※敬称を略します

■ 入会金 <1口 / 3,000 円>

期 氏名
113 内田直哉
113 大中莉奈
113 小野崎蒼生
113 吉田雪道
113 相島リサ
113 岡室明依
113 小倉 凜
113 熊谷 謙
113 今野尊子
113 中村 愛
113 中村風太
113 庭山恋史
113 本田平蔵
113 三好 花
113 石戸巧巳
113 稲田 陸

期 氏名
113 金井 詩
113 鈴木小春
113 関口麗央奈
113 原 達也
113 平川美月
113 松崎 遥
113 間根山大斗
113 水野 紀
113 村山真音
113 山田萌々花
113 青木彩恵
113 青野真衣
113 上野紗加
113 岸和田紫保
113 許澤馨月
113 長谷川未結

期 氏名
113 穴瀬美結
113 清水菜月
113 鈴木美希
113 長谷川愛子
113 横山なぎさ
113 青木美優
113 梅本季音
113 金子千陽
113 金城和穂
113 齋藤向日葵
113 清水心遥
113 白崎 優
113 高橋緒歩
113 高橋芽衣
113 田野井未來
113 堤 涼乃

期 氏名
113 西田 茜
113 沼口 翼
113 袴田結生
113 橋本衣未
113 三井心葵春
113 矢倉夏央
113 山口衣美
113 徳田結桃李
113 井上遙香
113 半村葉音
113 宗像南音
113 小池健太郎
113 皆川宙美

■ 終身会費
<30,000 円>

期 氏名
28 和田由利子
54 菅生えみ子
54 渡辺美代子
58 中村まつ子
62 浅野芳明
63 上村晴美
71 小幡英司
73 千葉照彦
74 高山小百合



■ 年会費 <2,000 円>

期 氏名
24 久保田睦子
29 梅田須美江
30 関根美智子
32 野木咲子
35 岡 みさを
35 国枝安江
36 鈴木紀久子
38 飯島トヨ
38 岩丸 栄
39 新藤尚子
39 村瀬君江
39 高垣周子
40 野口泰子
40 坂井ふみ子
40 吉良節子
40 氏川和江
40 会田寿美代
40 佐々木優子
41 大澤勝子
42 田中康慶
42 堀部孝子
42 田中泰慶

期 氏名
42 鈴木水早子
42 斉藤廣子
43 金城行八
44 安藤享子
45 新井丈夫
45 中沖靖子
46 山口健哉
46 南畝清志
46 永見佳子
46 古川光子
46 山口健哉
46 加藤 肇
47 吉田 昭
47 橘 修身
48 中村繁子
48 水野正行
48 吉田 攻
48 伊佐日出子

期 氏名
49 安藤宣昭
49 小島敏江
49 松本初枝
49 武田かね子
49 大貫洋子
49 阿部嘉四郎
50 山本惇子
50 松川澄子
50 大富佐智子
50 川村 誠
51 恩田好子
51 武田重子
52 高橋美奈子
53 中澤建樹
53 蓬田まち子
54 見村絹江
54 武富泰子
54 芝野雅一
54 小島貞美
54 広瀬 章
54 阿部アイ子
54 矢口レイ子

期 氏名
54 等々力美津子
54 安藤 操
54 見村絹江
55 森下美佐子
55 串崎千枝子
55 戸高一成
55 頓所千代子
55 四ノ宮清子
55 小川幸治
55 風間良子
55 辰馬信男
55 加藤由美子
55 宮川明久
56 河合千賀子
56 千木良富子
56 飯尾 進
56 須藤とし子
56 飯島孝夫
56 細谷たき子
56 千木良富子
56 恵比根ふさ子
56 河合千賀子

期 氏名
56 鈴木康子
56 山路雅子
56 関 眞弓
57 久木留廣明
57 渡邊幹夫
57 小川武夫
57 丹 英子
57 野口喜代美
58 横山葉子
58 伊田由美
58 榎本恵一
58 齊藤臣司
58 小林早苗
59 渡 章
59 宮地節子
59 岩橋利枝
59 小林辰也
61 篠田恒夫
61 山口光雄
61 中太淳一
61 水島秀勝
61 佐竹眞一

期 氏名
62 菊地輝光
62 高橋清彦
62 高橋 正
62 笹川文夫
62 丸山勢富美
63 樽見孝仁
63 藤林邦夫
63 太田則子
63 矢内まゆみ
63 阿部珠江
63 中原三佐代
63 阿曾保子
63 大塚泰江
64 手塚 努
64 富岡新吾
64 谷塚有二
65 松村晴江
65 市川裕一
66 加藤雅敏
66 木綿喜美子
67 倉橋いく枝
67 森田泰蔵

期 氏名
67 柴田哲也
69 小坂寿子
70 清野正子
70 新井恵子
70 村山茂則
70 村山秀子
70 渡辺照男
70 高瀬雄二
71 松岡直美
71 金澤見映
72 大塚昭宏
72 三本憲一郎
75 佐々木奈都子
85 森本真宗
88 川上麻有
93 笹川博史
94 柳原孝彦
101 平瀬名津季



■ 協力金 <1口 / 1,000 円>

期 氏名 口数
28 和田由利子 70
30 関根美智子 1
32 野木咲子 2
38 飯島トヨ 2
38 河合敏子 3
38 岩丸 栄 3
39 村瀬君江 1
39 高垣周子 8
40 益田米子 3
40 会田寿美代 1
41 松丸富江 5
41 打矢智枝子 10
42 田中康慶 1
42 石塚和子 2
42 田中泰慶 1
44 安藤享子 4
46 南畝清志 3
46 古川光子 4
47 木村禮子 10
48 水野正行 2
48 白石美智子 1
49 武田かね子 2
50 大富佐智子 8
51 上野洋子 5
51 佐藤明美 3
51 恩田好子 1

期 氏名 口数
51 武田重子 1
52 榎本正香 1
53 太田俊江 2
54 見村絹江 3
54 上原稲子 20
54 若井栄子 20
54 芝野雅一 1
54 渡辺美代子 2
54 矢口レイ子 3
54 見村絹江 3
55 頓所千代子 3
55 辰馬信男 5
55 宮川明久 5
55 松岡久美子 5
56 飯島孝夫 3
56 石川千恵 2
56 恵比根ふさ子 1
56 矢吹 敬 3
56 関 眞弓 1
57 松本眞理子 1
57 福田隆史 2
57 丹 英子 1
57 吉野泰子 2
58 岡村裕之 1
58 榎本恵一 1
58 宮本弘明 1

期 氏名 口数
58 塩野崎淳子 3
58 中村まつ子 10
58 金子壽宏 3
59 村越和弘 2
59 上倉加代子 2
59 村越和弘 2
60 不明 5
61 篠田恒夫 8
61 山口光雄 2
61 中太淳一 1
61 水島秀勝 1
61 上原富士子 2
61 金田歳弘 10
63 樽見孝仁 3
63 麻生健太郎 3
63 大塚泰江 1
64 徳田ちよ子 1
65 坂本信江 1
66 中村由起子 5
67 渡辺富久枝 5
72 大塚昭宏 1
不明 2

■ 蓬莱園協力金 <1口 / 1,000 円>

期 氏名 口数
30 関根美智子 1
38 飯島トヨ 2
38 岩丸 栄 5
39 高垣周子 10
41 松丸富江 5
42 石塚和子 1
44 安藤享子 4
46 古川光子 4
48 白石美智子 1
49 武田かね子 1
50 松川澄子 1
51 上野洋子 5
51 恩田好子 1
52 榎本正香 2
54 渡辺美代子 2
55 頓所千代子 3
55 松岡久美子 5
56 恵比根ふさ子 1
56 矢吹 敬 2
57 松本眞理子 1
57 福田隆史 2
57 丹 英子 1
57 吉野泰子 2
58 榎本恵一 1
58 宮本弘明 1
58 小林早苗 1

期 氏名 口数
58 金子壽宏 2
60 不明 5
61 山口光雄 1
61 水島秀勝 2
61 上原富士子 1
61 金田歳弘 10
63 大塚泰江 2
64 徳田ちよ子 1
66 中村由起子 5
67 渡辺富久枝 5
67 67 期同期会 14
72 大塚昭宏 1
不明 1



鶯溪会百周年記念誌



■各年代の代表から当時の思い出を取材し、まとめた大作。こんなこともあったんだと知られざる忍岡高校百年の歴史が綴られていて、社会情勢もわかる貴重な一冊。

◆鶯溪会百周年記念誌
1冊2,000円(送込)

絶賛販売中!

会報「鶯溪」総集版 vol.5



■当会の会報「鶯溪」の約10年間の21号分を編集した総集版第5巻を発行した。(平成23年11月の第80号から令和3年11月の第100号まで)第80号はおよそ14年前の発行になるが、それからの鶯溪会と母校の10年間の変遷がつ

ぶさに語られ、こんな事もあったんだと思いを新たにすることが出来る。忍岡高校を知る資料としても重宝する一冊。

特に第80号は母校創立100周年記念行事の特集記事があり、なんと18ページ仕立て(通常は12ページ)。読み応えたっぷり。

◆「鶯溪」総集版第5巻
B5サイズ
1冊2,000円(送込)

生活科学科オリジナル手ぬぐい

■生活科学科の生徒のデザインによる日本手ぬぐいを鶯溪会で制作して販売する。

注染(ちゆうせん)という染め方で、特殊な糊で防染し重ね上げた生地の上から染料を注ぎ、模様部分を染め上げる伝統的な型染め的一种。独特のぼかしやにじみ、裏表同じ模様といった特徴があり、手ぬぐいや浴衣、ふきんなどの染色によく



和のテイストをふんだんに盛り込んだ日本手ぬぐい。銀杏の図柄も入って忍らしいです。

用いられている。今年8月中には仕上がり、文化祭で販売する予定。事前にお申し込みただけれ数量を確保することが出来る。

◆生活科学科オリジナル手ぬぐい(100本限定)
1本1,200円(送込)

報 告

〈謹んでご冥福をお祈りいたします〉 2024年9月1日～2025年3月31日の受理分

期	氏名	旧姓	ご逝去年月日	期	氏名	旧姓	ご逝去年月日
28・2	和田 由利子		2015.3.8	45・F	嶋 春枝	御崎	2024.8.12
33	佐藤 二三子	稲垣	2023.8.24	46・C	井村 晃崇		2024.8.3
33	宮川 松子	白井	2024.7.20	47・F	藤戸 由美子	友田	2023.4.1
35	根橋 勝代	長峰	2024.10.27	49・D	吉田 照夫		2023
36	岩上 なつ子	川島	2023	49・E	稲毛 暉修		2024.6.1
36	佐志田 フミ	宮城	2024.4.25	50・B	赤塚 昭二		2025.2.21
36	島崎 富久子	大石	2024.5	50・D	多田 洋子		2024.10.15
37	小山 光江		2024.3.2	52・D	井原 隆三		2024
37	松田 和子		2024.11.1	54・F	加藤 美代子	篠田	2024.10.14
38	萩原 美代子	清水	2024.9.4	58・C	実松 美枝子	末武	2022.12
40・D	山口 幸子	中根	2021.7.10	58・C	菅田 ひさの	伏木	2022.12
40・E	益田 米子	稲垣	2022.12.19	59・E	中島 章江		2024.10.29
40・H	梗間 明子		2024.6.25	59・E	山崎 鈴江	日向野	2024.10.29
40・H	成瀬 多美子	小張	2024.6.20	62・B	菊次 陽子	仲	
40・H	矢倉 禧子		2019.6.23	66・A	宮田 朝子		2023
41・B	打矢 智枝子	浦野	2023	66・D	永田 幸江	泉	2019.1.16
41・C	中村 清		2024.2.9	68・C	佐藤 貞治		2024.6.8
42・A	水島 恭愛		2024	71・G	高木 丈太郎		2022
45・E	中村 裕子	本荘	2024.7	71・G	増子 尚香	大澤	2025.1



お知らせ

来年より、会報「鶯溪」 は年1回の発行とさせていただきます

会費未納の卒業生には
発送回数を制限することに

歴代の理事が守ってきた年2回発行が難しくなりました。今まで春と秋、年2回全ての卒業生に送っていたものを、経費を抑えるために秋号は会費や寄付をいただいた方限定にしたり、また会の運営に関わる経費も抑えてきました。それでも毎年の赤字は改善できず、今後の会の運営を考へ年1回の発行に踏み切りました。さらに、今後は会費未納の卒業生には発送回数を制限していきます。

会運営の大きな変革期と
思い対策していきます

一度黒字化して新しく出直したいと思います。世代によ

る同窓会への認識の違いも感じられます。年齢を積み重ねて生まれる同期の友を懐かしめるのか、情報ツールの多角化の中で会報発送という手段は正しいのか、そのへんの調査分析もしたい。鶯溪会としても大きな変革期を迎えていると認識しています。

会員便りが一番人気
今後もたくさん欲しい

今後、情報の遣り取りはホームページやLINEの役割を強化していく予定です。毎回いただいたお便りも年1回になってしまふのは寂しくはありますが、他の方法でも構いませんのでたくさんのお便りをお願いします。お待ちしております。

LINE公式アカウント で情報発信中!

月一で同窓会や
母校の活動を
配信!

現在、LINEを通して登録した約180名の方に月1回程度のニュースをお送りしています。また、他の記事にもあるように、さまざまなサークル活動を計画していますが、そういった時の告知もLINEで行おうと考えています。そろそろ本格稼働に入りますがいろいろ試して

行く予定です。卒業生はお名前と卒業年次、そしてクラスをお知らせいただくだけです。またサークルなどに参加したい方はご希望も入れてください。サークル立ち上げを希望する方もお知らせください。お手伝いします。登録はQRコードからお願いします。



鶯溪会公式
アカウント

Web アンケートのお願い



鶯溪会アンケート

当会報の記事で何が良かったか、卒業生はどんな記事を求めているのか、母校の紹介はこのくらいでいいのかなど迷ってばかりの編集ですが、考えるのもいいけど皆さんに聞いてしまおうということでアンケートのお願いです。

質問は多くはないのでぜひご協力をお願いします。掲載のQRコードでログインしてください。できれば具体的に書き込んでも構いません。

編集後記

同期会の開催が活況です。昨年の秋から今年の春にかけて連絡をいただいた同期会だけでも54期、61期、62期、63期、67期、71期と続きます。71期が還暦の年に当たるので皆さん60歳代ということになる。人生のカタチがほぼ決まったこの年代になると高校の頃の、不安や焦燥を抱えながらも不思議な熱気に包まれつつ共に過ごした仲間たちが懐かしくなるのはデフォ(決まり)なのかも知れない。

40年振りといえども会って一言二言、言葉を交わせば一瞬であの頃に戻り、今と昔の記憶が錯綜しつつも心地よい気分が味わえる。こんな体験ができるのは同期会ならではのものです。

掲載した歓喜あふれる同期会報告も分量が多く読み応え十分。楽しい同期会を他の期もぜひ開催していただきたい。鶯溪会は同期会開催を応援しています。

で、58期の同期会はどうしたのかな?

〈広報部 58期 金子寿宏〉